

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立篠原小学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校運営方針について理解してもらう具体的な手立てを考える。
- 学校と地域がさらに理解し合うために、情報を発信していく。
- 地域・家庭へ学校運営協議会の活動への理解と協力を広げる。
- 学校の先生方にも学校運営協議会への理解を深めてもらう。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校側より基本方針について丁寧な説明があり、授業参観や教員との交流、協議会での話し合いを通して理解を深めることができた。
- 子供の姿と照らし合わせ、学校が力を入れている活動「子供主体の特別活動」「対話活動」について理解することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校支援ボランティア「しのささっ子応援団」の拡充のために活発な意見交換をし、充実した支援活動を行うことができた。
- 協議会委員と教員との交流の場を設けて意見交換をしたことで、学校支援活動についての互いの理解がより深まった。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校の方針や取り組みについて、折に触れ保護者や地域の方に語るなど、情報発信を意識した。
- 学校運営協議会のHPを活用して学校支援活動の様子を掲載するなど、十分な情報発信ができた。ボランティア希望者が、HPを利用してボランティアを申し込み、支援活動を行うという仕組みが定着した。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 来年度も委員と教員との交流の場を設け、互いの理解を深め、充実した活動を目指したい。
- 学校運営協議会委員として協議会の取り組みの方向性を共有し、具体的活動を考えたい。
- 学校運営協議会HPについて、今後は学校支援活動のみではなく、さまざまな意見等をHPに掲載するなどして、情報内容を充実させて地域や家庭への情報発信に努め、理解と協力を広げたい。